

類別：機械器具 (32) 医療用吸引器
一般医療機器 吸引器用キャニスタ 34858000

再使用禁止

ヨックスディスポオペ用後入れライナー

**

* 【禁忌・禁止】

** 再使用禁止

- * 本品を使用する前には必ずヨックスディスポオペ S702 の取扱説明書及び添付文書をよく読み、理解された上で、正しく使用すること。(記載事項に従わないと重大な事故に結びつくことがあります。)
- * 本品は、ヨックスディスポオペ S702 に使用する専用のライナーです。他に使用しないこと。(正常な機能や安全を保てなくなる。)
- * 本品は、ヨックスディスポオペ S702 のキャニスターボトルにセットし外科手術や治療などで生じる血液、たん、生理食塩水などの汚物を吸引し、固化させる汚物収集バッグです。(再使用は行わないでください。感染の原因になります。)
- * 本品は、樹脂製品です。穴を開けたり、高温にさらしたりしないでください。(汚物の飛散、フロート作動不良によるアウトレットバルブへの吸引などにより感染の原因になります。)
- * 本品内の汚物がキャニスターボトルの最大目盛 (2000mL 又は 3000mL) になる前に吸引を中止すること。(満杯まで吸引すると、医療ガス配管設備及びアウトレットバルブが汚物により汚染されることがあります。)
- * 本品は、ディスポーザブル製品です。(ライナーの再利用は絶対しないこと。)
- * 本品をキャニスターボトルにセット後、コントローラーのハンドルの「赤丸マーク」の位置を目盛「ON」に合せ患者ホースの先端で吸引できることを必ず確認してから使用すること。(正常な機能や安全を保てなくなる。)
- * ライナー内に凝固剤を投入する時は、必ずコントローラーを「ON」のまま (キャニスターヘッドも閉じたまま) で実施すること。(汚物などの飛散などにより、感染の原因になります。)
- * 当社の純正部品以外は使用しないこと。(正常な機能や安全を保てなくなる。)

【形状・構造及び原理等】

本品は、バッグに凝固剤投入口が構成されており、ヨックスディスポオペ S702 (届出番号 10B2X00014C00006) に使用する凝固剤後入れタイプのライナーである。

1. 形状・構造

1) 2000mL 用

- (1) 寸 法：φ 126 × 325 mm
- (2) 容 積：2000 mL
- (3) 重 量：150 ± 10 g

2) 3000mL 用

- (1) 寸 法：φ 126 × 460 mm
- (2) 容 積：3000 mL
- (3) 重 量：160 ± 10 g

2. 原理

真空吸引器 (ヨックスディスポオペ S702) からの吸引圧により、体液等の汚物を吸い込みライナーに貯留させる。貯留された体液が満杯になると吸引が停止する。また、ライナーの凝固剤投入口キャップを開けて凝固剤を投入すると汚物が凝固される。

3. 性能

入口吸引圧力 - 53.3 kPa ~ - 80 kPa

【使用目的又は効果】

本品は、体液の回収を目的とし吸引器とともに使用する吸引器用キャニスターである。

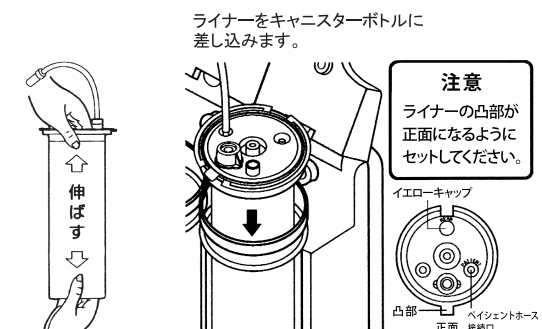
【使用方法等】

操作方法又は使用方法等の詳細については、ヨックスディスポオペ S702 の取扱説明書をご参照ください。

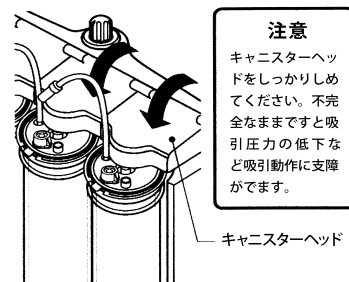
1. 使用準備

1) ライナーをキャニスターにセット

- ① ライナーを用意する。
- ② ライナーをしっかり伸ばし、キャニスターヘッドを開いてキャニスターボトルにライナーを差し込む。
- ③ ライナーの凸部を正面に黄色キャップを真後になる様に合せ差し込む。
- ④ ライナーにセットされている黄色キャップが穴から外れていないことを確認し、キャニスターヘッドをしっかり閉じる。

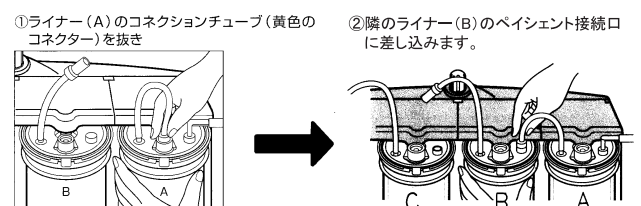


キャニスターヘッドをとじます。

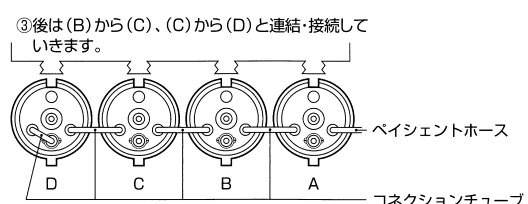


* 2) ライナーを連結する。

- ① ライナー (A) のコネクションチューブ (黄色のコネクター) を隣のライナー (B) の吸引口に根本まできっちりと差し込む。



- ② 後は (B) から (C)、(C) から (D) と連結・接続する。いちばん左側のライナー (D) のコネクションチューブは「FINAL」ファイナルホールに差し込む。
- ③ 連結の種類、方法についてはヨックスディスポオペ S702 の取扱説明書を参照のこと。



2. 操作方法

- 1) アダプターホースのアダプターを吸引アウトレットに差し込む。
- 2) ペイシェントホースをライナー (A) のペイシェントホース差し口に接続する。
- 3) ペイシェントホースの先端で吸引できることを確認する。

確認方法

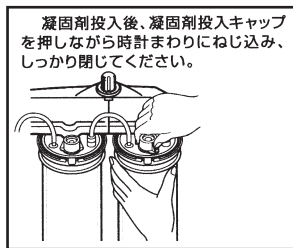
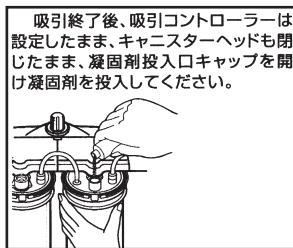
- ①コントローラーのハンドルの「赤丸マーク」の位置を目盛「ON」に合せる。
 - ②キャニスターボトル内のライナー内に吸引圧が作用し、ライナーがボトルに沿って膨らむことを確認する。
 - ③ライナーがしぼんでしまった場合は、部品を確認し再度セットする。
 - ④ペイシェントホースの先端を水に入れるか、ペイシェントホースの先端に親指の腹を当て吸引できることを確認してから吸引する。
- 4) 吸引の開始
コントローラーのハンドルの「赤丸マーク」を「ON」に合せ、ペイシェントホースの先端から吸引する。

5) 吸引の中断及び停止

- ①吸引を一時的に中断したいとき、又は短時間使用しないときにはコントローラーのハンドルの「赤丸マーク」を「OFF」の位置に合せる。
- ②使用後は速やかに、ライナーからペイシェントホースを外し、キャニスターヘッドを開け、ライナーの廃棄を行う。

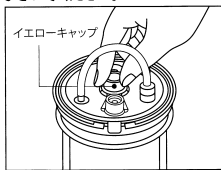
3. ライナー内に凝固剤投入

- 1) 吸引が終了したらコントローラーを「ON」の位置に合せたまま (キャニスターヘッドも閉じたまま)、全てのライナーのコネクションチューブを「PATIENT」:ペイシェントホース接続口に差し換える。
- 2) ライナーの凝固剤投入口キャップを開けて専用の凝固剤を投入する。
- 3) 凝固剤投入後、凝固剤投入口キャップを下方向に押しながら時計回りに回転が止まるまでねじ込み、しっかりと閉じる。

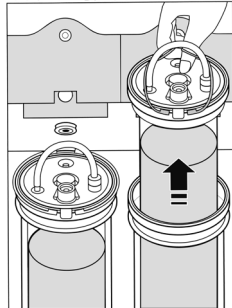


- * 4) キャニスターヘッドを開け、ライナーの「吸引口」を付属の黄色キャップで密閉し、ライナー吊り手を持ってキャニスターボトル内のライナーを抜き取る。

ライナーの吸引口をイエローキャップでふさいでください。

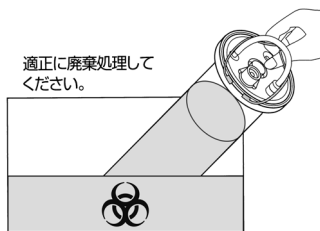


ライナーの吊り手を持って、キャニスターボトルから引き出してください。



- * 5) ライナーを所定の処理場所に廃棄する。

適正に廃棄処理してください。



【使用上の注意】

1. 警告

- 1) ライナー連結時のコネクションチューブのコネクターは黄色い部分が見えなくなるまで差し込むこと。
- 2) ライナーとキャニスターボトル及びキャニスターヘッドは確実にセットすること。
- 3) 連結または単独使用の最後のライナーは必ず新品を使用すること。
- 4) 連結または単独使用の最後のライナーのコネクションチューブは、必ず「FINAL」ファイナルホールに差し込むこと。
- 5) チューブ類を抜き差しするときに無理な力を掛けないこと。
- 6) ペイシェントホース及びアダプターホースは内径φ6mmを使用すること。
- 7) 一つのアウトレットバルブでは一台の吸引を行い、二又にするなどの同時使用は絶対にしないこと。
- 8) ライナーは確実にセットすること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- 1) ライナーはポリ袋などに収納し、所定の保管場所にて保管すること。
- 2) 保管場所の条件: 高温、ほこり、水、湿気等がない場所であること。温度、ほこり、湿度、風通し、塩分、いおう分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所であること。化学薬品の保管場所やガスの発生する場所でないこと。

【取扱い上の注意】

ライナーを転倒及び落下等の衝撃を加えないでください。

【保守・点検に係る事項】

ライナーは使用前に必ず下記のことを目視で確認してください。

- 1) ライナーに亀裂、損傷及び変色、劣化、落下等による変形等がないか。
- 2) ライナー内にセット部品が外れておちていないか。
- 3) ライナー内に部品がセットされていること。

【主要文献及び文献請求先】

株式会社 群馬コイケ
〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町222-1
TEL 0270 - 32 - 4318

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社 群馬コイケ
TEL 0270 - 32 - 4318